

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	松下峻也
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3414
事務事業名	4160 鳥獣被害防止対策事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	05012200 農業の活性化						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費					
	事業	020000 鳥獣被害防止対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
地域、集落の現状と出没鳥獣の全体を把握し、最も有効な手立て（電気柵、わな、檻、緩衝帯整備など）を検討し、鳥獣被害を最小限に留め、農業者の営農意欲の持続に勤める。				<ul style="list-style-type: none"> ・サル・イノシシ用の電気柵・防護柵購入 ・森林整備事業に関する事業 ・有害鳥獣駆除業務 			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
電気柵17.75km設置 緩衝帯整備11.65ha実施	電気柵0.9km設置 緩衝帯整備4.4ha実施
平成26年度 実績	平成27年度 予定
電気柵6.13km設置 緩衝帯整備5.7ha実施	電気柵2.6km 緩衝帯整備4.5ha予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		51,927	37,100
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	19,168	11,755
	地方債	0	0
	その他	380	380
一般財源		32,379	24,965
人員数(人)	正規職員	1.0	1.0
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	1.0	1.0
人員コスト	正規職員	6,858.0	6,858.0
	嘱託職員	272.5	272.5
	臨時職員	1,177.0	1,177.0
	計	8,307.5	8,307.5
市民一人当たりの経費		1.2	0.9
総額		60,234.5	45,407.5

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,820	有害鳥獣駆除報奨金
11節 需用費	432	野ねずみ駆除実施薬剤
13節 委託費	1,974	猟友会有害鳥獣駆除委託
15節 工事請負費	27,303	電気柵設置工事(亀倉・仁礼・大谷)
19節 負担金補助及び交付金	4,990	須坂市有害鳥獣駆除対策協議会
その他	14,408	電気柵材料費

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,100	猟友会有害鳥獣駆除委託
15節 工事請負費	1,000	電気柵設置工事
19節 負担金補助及び交付金	6,300	須坂市有害鳥獣駆除対策協議会
その他	27,700	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	被害防除が広範に及ぶ場合が多いので、区単位の対策員会を組織し、電気柵等の設置・管理をいただいている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	被害が減る効果が上がっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	市が資材を提供し、地元での施工・管理を基本に対応いただいている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

経年による修繕が必要な地域もあるので、引き続き対策をお願いしていく。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
電気柵が最も効果のある対策なので、引き続き地元での対応をお願いしていく。		計画的な電気柵設置により有害鳥獣対策を推進する。 なお、法令や設置基準の遵守、安全管理に万全を期す。 。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	